

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Harmony & Theory I		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆などをこなす。				
授業概要					
音楽の構造や楽典分析の仕方などを、理論立てて学ぶ。					
到達目標					
音楽を理論的側面から捉え、演奏や作編曲等に活用する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	Notation Basics Major Scales
【前期】 7～10回目	Intervals Intervals Within and Beyond The Major Scale
【前期】 11～14回目	Further Study Of The Triad Chords And Major Triads
【前期】 15～18回目	Major Scale Harmony Chord Progressions Harmony & Theory Review
【後期】 1～4回目	Notation Basics Time Signatures
【後期】 5～8回目	Major Key Triads Natural Minor Scales
【後期】 9～12回目	Minor Scale Triad Harmony Harmony & Theory II Midterm Review
【後期】 13～17回目	Minor Scale Harmony Diatonic Seventh Chords
【後期】 18回目	Harmony & Theory II Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容を他の授業に活かせるように、繰り返し学習すること。
使用教科書	MI Bookstore Harmony & Theory 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Ear Training I	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆などをこなす。				
授業概要					
聴こえてくるメロディーやリズム、ハーモニーなどを声に出し、聴音力を鍛える。					
到達目標					
楽曲を聴き、五線譜への採譜する能力の修得。 複雑なメロディーやリズム、ハーモニー等の聴音力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	Pitch Major Scales/Sharp Keys Major Scales/Flat Keys
【前期】 7～10回目	Intervals Melodies Melodic and Harmonic Intervals
【前期】 11～14回目	Chromaticism Harmony
【前期】 15～18回目	Diatonic Harmony Try It All Together
【後期】 1～4回目	Meter And Rhythm Rhythmic Notation
【後期】 5～8回目	Sight Singing Transcribing Melody and Rhythm
【後期】 9～12回目	Midterm Review Melodic and Harmonic Intervals
【後期】 13～17回目	Triad Qualities Diatonic Chord Progressions
【後期】 18回目	Ear Training II Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容を他の授業に活かせるように、繰り返し学習すること。
使用教科書	MI Bookstore Ear Training 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	English Communication	授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	全コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>			
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 パークリー音楽大学出身。BABY FACE、USHERの来日時にドラムを務めたり、安室奈美恵のバックコーラスとして、NHK紅白歌合戦にも出演。スティービー・ワンダーとセッションするなど、その活動は幅広い。			
授業概要				
いままで学んできた英語を活用し、音楽現場でのコミュニケーションに使えるようになる。語彙や文法などを一度抜きにして、とにかく英語を使ってコミュニケーションしてみるクラス。				
到達目標				
会話力をつけ、様々な練習を通して音楽現場でコミュニケーション・ディスカッションができることを目指す。				

授業計画・内容	
【前期】or【後期】 1～2回目	授業説明。英語に慣れる。挨拶と自己紹介をしてみよう。
【前期】or【後期】 3～4回目	身の回りの物について話してみよう。
【前期】or【後期】 5～7回目	音楽について話してみよう。好きなアーティストや楽曲を紹介してみよう
【前期】or【後期】 8～9回目	音楽用語について。音楽現場での会話について
【前期】or【後期】 10～11回目	様々なコミュニケーションについて
【前期】or【後期】 12～13回目	プレゼンテーションについて
【前期】or【後期】 14～16回目	プレゼンテーション
【前期】or【後期】 17～18回目	復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容をしっかり理解し、自身の活動に活用すること。
使用教科書	講師が別途支持。主に講師作成のプリントを使用。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Music Business (Sound Creator)	授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 MI TOKYO卒業後、音楽制作会社を起業し、レコーディング・PAエンジニアとして活動している。			
授業概要				
音楽を通じビジネスを学びます。現代の音楽業界の多様化や変化を学習しながら、自分のキャリアを形成します。業界の仕組みや著作権、またWEBやSNSを活用したプロモーションなど多角的にアーティストの活動を理解していきます。				
到達目標				
音楽をインターフェースにビジネスを知る。個人事業主とは何かを知る。				

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	MusicBusinessについて、音楽ビジネスとマネージメントについて、プロフィールの作成
【前期】 6～10回目	活動計画を考える:ビジョンを見据える～キャリアプラン
【前期】 11～15回目	仕事とはなにか、世の中の様々な仕事について
【前期】 16～18回目	自分の価値について、プロフィールの再考、復習
【後期】 1～5回目	流通について、予算について
【後期】 6～10回目	産業について、事業計画について、予算
【後期】 11～15回目	企画の概要、プレゼンテーション
【後期】 16～18回目	ファイナルプレゼンテーション、プロフィールの作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容をしっかり理解し、自身の活動に活用すること。
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Song Analysis/Song Writing	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 パークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントやCM音楽も手掛ける。				
授業概要					
メロディー・ハーモニー・リズム・歌詞・構成・アレンジ・演奏・エンジニアリング、またはそれらの組み合わせから楽曲を捉えることによりミュージシャンとしての楽曲の聴き方を学ぶ。 作曲の基礎を学ぶ。					
到達目標					
音楽において自分の興味がどこにあるかを発見し、今後の学習目標を立てる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	Introduction、Elementsの整理、構想～作詞作曲について
【前期】 6～10回目	アレンジについて、ミックス・FXについて
【前期】 11～15回目	Elementsの整理2、アナライズ実践
【前期】 16～18回目	アナライズ実践、Review
【後期】 1～5回目	Introduction、曲創りににおけるメロディーの役割、メロディーを構成する要素(Motif)について
【後期】 6～10回目	小motif、中motif・セクションごとのmotif(A-B・A-B-C)、Approach Tech1
【後期】 11～15回目	Approach Tech2、motief development1、motief development2
【後期】 16～18回目	Melody Analysis on tonic scale、Melody Analysis on chord、Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容を繰り返し復習し、自身のプロジェクトに活用すること。
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Pro Tools 101 & 110		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 MI TOKYO卒業後、音楽制作会社を起業し、レコーディング・PAエンジニアとして活動している。				
授業概要					
世界中の音楽スタジオや楽曲作成には欠かせない音楽ソフトウェアのProToolsの基本的な操作方法と技術を学ぶと同時にAvid社公認ProToolsオペレーター#101を取得する。					
到達目標					
Avid社公認プロツールズオペレーター#101の取得。ProToolsを通じてサウンドエンジニアとしてあらゆる場で活躍できる人材になることを目的とする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	ProToolsについて、セッション及びプロジェクトの作成、オペレーティングの基本操作について
【前期】 6～10回目	ウィンドウの役割について、録音とファイル形式について、オーディオの録音・選択・再生
【前期】 11～15回目	メディアのインポート、MIDI、バーチャルインストゥルメントについて
【前期】 16～18回目	リージョンの作成とメモリーロケーション機能について、Review
【後期】 1～5回目	前期の復習、編集モードと編集ツールの使い方について
【後期】 6～10回目	パンチレコーディングとループレコーディングの違いについて、セッションファイルとオーディオファイルの管理について
【後期】 11～15回目	ワークスペースブラウザー、エフェクト処理、ミキシングテクニック
【後期】 16～18回目	楽曲の仕上げ ProTools#101試験の概要と対策
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容を繰り返し復習し、自身のプロジェクトに活用すること。
使用教科書	Avid認定のProTools101テキスト

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Live Sound Production	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 キーボードプレイヤー、レコーディングエンジニア、LIVE PA、CM、ドラマの音源制作で活動中。「世の中のエフェクターはシンセのパラメーターのバラ売り」という考えの音作りが根底にある。			
授業概要				
サウンドシステムの組み立て、ステージやモニターのセットアップ、サウンドチェックやコンソールの操作、エフェクト操作、ミキシング技術、トラブルシューティングなどライブサウンドを構築する基礎知識を学びます。				
到達目標				
小規模ホールでのライブPA をオペレートできるようにする				

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	PAシステムについて、スピーカーのチューニングについて、リファレンス音源について フロアモニターについて、回線について、マイクの種類について、用途に応じたマイク 選びとセッティングについて、
【前期】 6～10回目	EQとインサートエフェクトについて、必要とされる音以外の処理について ドラムの音作りについて、不必要な音の処理について、ここまでの復習
【前期】 11～15回目	ステージ上でドラムにもう一つ楽器を追加した際のレベルとバランスとその処理につい
【前期】 16～18回目	Sendについて、AUX回線について、プリフェーダー・ポストフェーダーについて Delayについて、Reverbについて、Send&Return回線の使い方について
【後期】 1～5回目	前期の復習、3つ以上の楽器で演奏した際のフロアモニターの音とEQでのチューニン グについて
【後期】 6～10回目	フェーダーグループ/VCA/ミュートグループについて、パッチの組み方、特殊なイン サートエフェクトについて
【後期】 11～15回目	バンドアンサンブルにおけるVOCALの処理とモニターについて
【後期】 16～18回目	総復習、実践中に出てきたトラブルシューティング
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的 に評価)
学生へのメッセージ	
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Computer Recording I	授業形態 / 必・選	実習	必修
		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験:10年 MI TOKYO卒業後、さまざまなアーティストのライブサポートや音楽プロデューサー「CULTONES」としてアイドルからYouTuber、ダンスグループからヒップホップまでを手掛け、ゲームや映画など音楽シーン以外の分野でも楽曲提供を行う。			
授業概要				
パソコンを使用した音楽制作に必要な技術や操作を学びます。				
到達目標				
音楽ソフト「Logic Pro X」の基本操作、ミキシングやマスタリング、シーケンス、サンプリング、レコーディング等を習得する				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	授業内容説明/デモ演習 MIDIプログラミング Apple loops/Drummer
【前期】 5～11回目	Audio Recording/Edit Equrizer Dynamic Plug in
【前期】 12～15回目	Reverb/Delay 実技トレーニング Review1、Audio Edit
【前期】 16～18回目	ソフトウェア音源、オートメーション Vocal Mix(Dyn/EQ/Rev/Delayアドバンス) Review2
【後期】 1～5回目	ミキシング/マスタリング:マルチデータのコンプレッション、サチュレーション、空間処理など各エディットの応用。VUメーター、RMS、ラウドネスメーターの説明。 実習1:MIDIプログラミング、オーディオ録音、ミックスマスタリング。
【後期】 6～7回目	実習1のプレゼンテーション。セッションデータの提出。 譜面:Logicで譜面作成。作曲/編曲の違いについて。実習2・3の説明。
【後期】 8～13回目	実習2(作曲/編曲):ペアを組みフルコーラス1曲を共作。実習2のプレゼン。 バウンス/リリース:バウンスのビットレート、サンプルレート、圧縮形式の違いCD/配信/映像音楽など用途の違いについて。有料配信の仕組みについて。
【後期】 14～18回目	実習3(編曲/アレンジ/リミックス):個別実習。講師が用意するステムデータをアレンジ。ステムデータについて、アレンジとリミックスの違いについて。 実習3のプレゼン。1年間の復習。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Studio Recording	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 キーボードプレイヤー、レコーディングエンジニア、LIVE PA、CM、ドラマの音源制作で活動中。「世の中のエフェクターはシンセのパラメーターのバラ売り」という考えの音作りが根底にある。				
授業概要					
スタジオでの機材の使い方含め、PROTOOLSの正確な操作、レコーディングの流れについて学ぶ。					
到達目標					
レコーディングスタジオのシステムと基本的な作業の流れの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	音の3要素、音の入り口(マイク、DI) ブース・コントロールルームの連携、レコーディング実習
【前期】 6～10回目	ダビング実習、特殊なダビング、セッティングからの通し実習 2mix
【前期】 11～16回目	様々な楽器の録り方、トラック分けのダビングについて、編集作業 ステムミックス、ソロ楽器・ボーカル録音
【前期】 17～18回目	オートメーション、音圧を意識したオペレート 簡易的マスタリング
【後期】 1～5回目	オペレート実習、プレイヤー立場での実習
【後期】 6～10回目	ミックスする為のトラック作り、モノラル・ステレオの扱いの検討
【後期】 11～16回目	楽器、音色を周波数で把握、広がる音・広がらない音について、広げるための音処理 の種類について
【後期】 17～18回目	時間軸について、小節とタイムコードの使い分け、ビデオファイルとのリンク、映像に 合わせた曲と効果音、ビデオファイル作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	既習内容をしっかり復習し、自分自身のプロジェクトで活用できるようすること。
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Keyboard proficiency	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴10年、 MI Hollywood卒業。帰国後バックミュージシャン・講師として活動中。 お台場合衆国「ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010」The Rootless、アカラ10周年記念コンサートなどで演奏。				
授業概要					
鍵盤を利用し、音楽理論のベースを構築しつつ、伴奏楽器の一つとして使えるようにする					
到達目標					
DTM使用の際の基礎的な鍵盤入力方法の習得。 キーボーディストの使うヴォイシングやバックングパターンの理解。 DTM使用の際、キーボードを使用したバックング入力スキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	スケール練習1～5
【前期】 6～10回目	スケール練習6～10
【前期】 11～15回目	コードの転回型1～5
【前期】 16～18回目	コードの転回型6～9
【後期】 1～2回目	4分打ちのバックング練習 サスティンペダルを使用してのバックング練習
【後期】 3～8回目	バックング練習1～6
【後期】 9～11回目	バックング練習1～6の復習 シンセの音色を知る
【後期】 12～16回目	バックング練習7～12
【後期】 17～18回目	バックング練習7～12の復習 今までのバックング総復習
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	鍵盤を使って視覚的に音楽理論を把握しましょう。
使用教科書	MI Bookstore Keyboard performance 1

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Project Advising I	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>			
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 作曲 / 編曲 / ピアニスト / 音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、TV、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。			
授業概要				
さまざまな授業で学んできたことを確認・復習しながら、講師と共に自身のプロジェクトを形成する。				
到達目標				
自身のプロジェクトの形成とプレゼンテーション				

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス
【前期】 6～10回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、中間発表
【前期】 11～15回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス
【前期】 16～18回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、期末発表: プレゼンテーション
【後期】 1～5回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス
【後期】 6～10回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、中間発表
【後期】 11～15回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス
【後期】 16～18回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、期末発表: プレゼンテーション
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	自分自身の活動に活用できるようにしましょう
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Live Playing Workshop I	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 15年～20年 選択した内容に応じた現役プロの講師				
授業概要					
さまざまな音楽のスタイルやジャンル別に、課題曲を使った本番さながらのバンドアンサンブルの授業					
到達目標					
バンドアンサンブルの経験値を上げる。さまざまな音楽を身体に取り込む。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週1回選んで出席する
【前期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週1回選んで出席する
【前期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週1回選んで出席する
【前期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週1回選んで出席する
【後期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週1回選んで出席する
【後期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週1回選んで出席する
【後期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週1回選んで出席する
【後期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporany Pop/Rockなどの課題曲から週1回選んで出席する
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	いままで触れたことの無い音楽にたくさん触れて、さまざまな音楽を体感してください
使用教科書	講師が用意する譜面

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Sound Creator Style Selection I	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴:15年～20年 選択した内容に応じた現役プロの講師				
授業概要					
自身の望むスタイルに向けた授業を選択し、学んでいく。					
到達目標					
自身のスタイルの確立。 確立したスタイルに対するスキルの習得、向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～9回目	選択① 別途配布する授業の中から選んで受講する。
【前期】 9～18回目	選択② 別途配布する授業の中から選んで受講する。
【後期】 1～9回目	選択③ 別途配布する授業の中から選んで受講する。
【後期】 9～18回目	選択④ 別途配布する授業の中から選んで受講する。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	自身のスタイルを確立し、自分だけの音楽を作り出してください。
使用教科書	選択した授業ごとに資料を配布。